

令和5年度 学校評価シート（自己評価）

川 口 幼 稚 園

1. 園の教育目標

<p>川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。</p> <p>この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。</p> <p>(1) 調和的人格の育成 (2) 健全な心身の育成 (3) 保育の資質向上 (4) 個性尊重と自主性の促進</p>
--

2. 具体的な目標や計画

<p>評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。</p>

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	学年全体で日々子どもの状況を報告し合い、実態把握を心掛け、更に職員会議で共通理解を図った。その上で年齢や個々の発達状況季節に合ったカリキュラムを作成し、子ども一人ひとりがのびのび取り組めるよう配慮した。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	B	子どもの性格や個性を理解するために担任だけでなく園全体としてかかわり、その中で子どもの姿を多角的に捉え、子どもの性格や個性の実態を把握し、その子に合った指導方法を考えて実施するよう心掛けた。しかし、援助を必要とする子への対応が不十分であったり、保護者との連携をもっと密に取ったりするべきだったと考える。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	B	園だよりでその月のねらいを保護者に伝え、参観・個人面談等でクラスの様子や成長、今後の課題などを伝えている。しかし、保護者から見た園との連携等、園側がそれらを客観視し、複数の視点を総合的にまとめる必要がある。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	B	戸外遊びや預かり保育を通じて異学年交流があり、協力し合って遊び子ども主体の保育となっている。それに加えて、職員が工夫した遊びを提案したり、喜ぶものを取り入れたりして、今後も環境構成を充実させていく必要がある。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う	A	進級進学に向けて年齢に合った学年ごとの目標を設定し、年間を通して基本的な生活習慣が身に付くよう指導を行った。また、感染症対策として手洗い、うがいが徹底出来ている。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>昨年の課題であった状況に応じた避難訓練を実施し、園児も状況によって対応する姿があった。施設面においては、日直やバス運転手を筆頭に園児が安心・安全に過ごせる環境となるよう毎日点検をし、整備についてはその都度対処した。行事はコロナ禍前に少しずつ戻しているが、今後も話し合いを重ねて状況に合うよう工夫していきたい。</p>

○結果について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	暑さが厳しくなりその中で出来る範囲で行事内容・保育内容の再検討をする。
ホームページの活用	日頃の活動内容や園の情報、行事を見やすく提供していく。